

<英語語法マスター⑪> 名詞の語法①

① 覚えておくべき不可算名詞

以下に挙げる名詞は常に不可算名詞で、a・anを付けることも複数形になることもない!

→ 数えたいときは () や () などを使う!

最頻出	① () 「忠告」 / ② () 「手荷物」(米)
	③ () 「家具」 / ④ () 「情報」
	⑤ () 「宿題」 / ⑥ () 「知識」
	⑦ () 「手荷物」(英) / ⑧ () 「知らせ」
	⑨ () 「仕事」 ← 「 」の意味なら可算名詞!
頻出	⑩ () 「損害」 / ⑪ () 「証拠」 / ⑫ () 「楽しみ」
	⑬ () 「害・損害」 / ⑭ () 「家事」 / ⑮ () 「紙」
	⑯ () 「進歩」 / ⑰ () 「交通(量)」 / ⑱ () 「天候」
発展	⑲ () 「装備」 / ⑳ () 「宝石(類)」 ← () は可算
	㉑ () 「機械」 ← () は可算 / ㉒ () 「郵便物」
	㉓ () 「詩」 ← () は可算 / ㉔ () 「文房具」

(例) Each room has five pieces of furniture. 「各部屋には家具が5点ずつある」
 (×) Each room has five furnitures.

★ 形容詞がついても (/) はつかない!

(例) She has made rapid progress in English. 「彼女は英語の力が急速に進歩した」
 (×) She has made a rapid progress in English.

★ () は形容詞がつけば、(/) がつく!

(例) He has a good knowledge of Japan. 「彼は日本のことをよく知っている」

※ () ・ () ・ () ・ () も形容詞がつくと
 (/) が必要!

(例) a delicious lunch

② 不可算名詞 roomの用法

不可算名詞の room は「 / / 」の意味を表す。

・ () 「

There is still room for improvement. 「改善の余地がまだある」

・ () 「
= ()

There is no room for doubt about his guilt. 「彼の有罪は
= His guilt leaves no room for doubt. 疑いの余地がない」

・ () 「

Will you make room for me? 「私に場所を空けてくれませんか」
→ 「少し詰めてくれませんか」

③ 常に複数形を用いる表現

< friend タイプ >

① () 「友人」 () 「

② () 「間柄」 () 「

friend が複数になるのは交友には **相手が必要** だからで、term の方は「間柄」の意では常に terms という形で用いる。

○ I am great friends with him. 「私は彼と大の仲良しだ」

× I am great friend with him.

< shake hands タイプ >

① () 「握手する」 / ② () 「乗り換える」

③ () 「席をとり換える」

④ () 「交代で〜する」

上記の句はそれぞれ相手が必要なので **複数形** をとる!

You must change trains at this station. 「この駅で乗り換えねばならない」

<英語語法マスター⑫> 名詞の語法②

① 常に複数の形をしている名詞と数の一致

名詞の中には常に複数形をしているものがある。そうした名詞が単数扱いなのか複数扱いなのかもセットでおさえる!

< mathematicsタイプ >

- ① () 「経済学」 / ② () 「倫理学」 / ③ () 「ニュース」
 ④ () 「数学」 / ⑤ () 「物理学」
 ⑥ () 「はしガ」 / ⑦ () 「ビリヤード・玉突き」

・上記の各語は () 扱いが普通!

The news is bad today. 「今日のニュースは悪い」

< scissorsタイプ >

- ① () 「めがね」 / ② () 「ズボン」 / ③ () 「ズボン」
 ④ () 「めがね」 / ⑤ () 「ハサミ」

・上記の語のように、二つの等しい部分が一つになっている服飾用品や道具名は常に () で用いる。() 扱いが基本だが () 扱いもある。

Where are my trousers? 「私のズボンはどこにある?」

・これらの名詞は these・those などの () の修飾語を伴う。数えたいときは () を使う!

These scissors are [This pair of scissors is] sharp. 「このハサミはよく切れる」

< meansタイプ: 複数形で特別な意味となるモノ > → () 扱い

- ① () 「武器」 / ② () 「気取った様子」 → () 「気取る」
 ③ () 「軍隊」 / ④ () 「関税・税関」 / ⑤ () 「商品」
 ⑥ () 「文学」 → () 「文学者」
 ⑦ () 「礼儀作法」 / ⑧ () 「資産・収入」 ← ⑨ () 「苦勞・骨折り」 → () 「苦勞する」
 ⑩ () 「よろしくというあいさつ」 → () 「Aによろしくと伝える」
 → () = ()
 ⑪ () 「気分」 → () 「上機嫌である」
 ⑫ () 「工場」

② 形は単数でも複数で受ける集合名詞

< 単複両用の扱いをするタイプ >

- ① () 「聴衆」 / ② () 「クラス」 / ③ () 「委員会」
 ④ () 「乗組員」 / ⑤ () 「群衆」 / ⑥ () 「家族」
 ⑦ () 「政府」 / ⑧ () 「陪審員」 / ⑨ () 「チーム」

・上記の語は、これらの集合体を一つの単位としてまとめて考えるときは () で受けるが、それらを構成する個々のメンバーを考えていうときは () で受ける。

(○) There was a large audience at the concert.

(×) There were many audiences ... 「コンサートの聴衆は大勢だった。」

(○) My family are all very well. 「家の者は皆とても元気だ。」

< 常に複数扱いをするタイプ >

- ① () 「牛」 / ② () 「人々」 / ③ () 「警察」

・上記の語は、形は単数でも常に () で受ける!

The police were looking into the case. 「警察はその事件を調査していた。」

・このタイプは、形は単数だが (/) をつけることはなく、また () にはならない。the をつければ総称の意味になる。

・people は「人々」の意味で使うときはこのタイプになるが、「」の意味では単数なら a がつくし、複数なら peoples となる。

the police 「警察」 a policeman 「(個々の) 警官」

③ 「客」を表す名詞

① ()	「(弁護士・建築家などの) 依頼人」
② ()	「商店・レストランの客・顧客」
③ ()	「招待客・ホテルの宿泊客」
④ ()	「乗客」 / ⑤ () 「訪問客・来客・見舞客」
⑥ ()	「(劇場などの) 観客・観衆・聴衆」
⑦ ()	「(スポーツなどの) 観客・見物人」 / ⑧ () 「患者」

<英語語法マスター⑬> 名詞の語法③

①「お金」に関する名詞

① ()	「乗り物の運賃」	
② ()	「専門職に対して支払う料金」 a lawyer's fee 「受験・入場・入会のための料金」 「弁護士料」	
③ ()	「入場料」	④ () 「授業料」
⑤ ()	「サービスに対して支払う料金」 「(電気・ガスなどの)公共料金・使用料」	
⑥ ()	「家賃・賃料」	⑦ () 「収入」
⑧ ()	「経費・費用」	⑨ () 「費用」
⑩ ()	「利子・利息」	⑪ () 「手数料・歩合」
⑫ ()	「(一般的な)報酬・手当」	
⑬ ()	「賃金」	⑭ () 「給料・賃金」
⑮ ()	「利益」	⑯ () 「税金」
⑰ ()	「罰金」= ()	
⑱ ()	「現金」	⑲ () 「小切手」
⑳ ()	「小銭・つり銭」 Keep the change.	

②「予約・約束」を表す名詞

- ① () 「(飛行機・ホテル・劇場・レストランなどの)予約」
- ② () 「(人と会う)約束」
- ③ () 「予約」= ()
- ④ () 「(雑誌などの)予約購読(料)」
- ⑤ () 「(何かをするという)約束」

③「仕事」を表す名詞

① ()	「割り当てられた仕事・宿題」(可算名詞)
② ()	「事業・職務」(不可算名詞)
③ ()	「経歴・(生涯の)仕事」
④ ()	「仕事」(可算名詞) ← () は不可算名詞
⑤ ()	「職業」
⑥ ()	「専門職・知的職業」
⑦ ()	「課された仕事・任務・課題」

④ go to ~ と the の有無

< go to school タイプ >

- ① () 「寢床」 / ② () 「野営地」 / ③ () 「教会」
 ④ () 「大学」 / ⑤ () 「病院」 / ⑥ () 「市場」
 ⑦ () 「学校」 / ⑧ () 「海」

・上記の建物・場所などを表す語は、その建物や場所そのものを表すときには () をつけるが、それらの果たす機能や目的を表すときには () で用いる。

○ He is old enough to go to school.

「彼はもう学校へ

× He is old enough to go to the school.

行ってもよい年だ」

・上記の語は、go to ~ の形だけでなく、() などの形でも使われる。

He is in hospital now. 「彼は今入院中だ」

(注) hospital, market は the をつける場合もある。

上記の語のほかには be at table 「食事中だ」、be in class 「授業中だ」などもある。

< go to the cinema タイプ >

- ① () 「映画館」 / ② () 「大学」 ← 無冠詞もある

上記の語は、本来の目的で行く場合にも () / () がつく。

<英語語法マスター⑭> 名詞の語法④

① 意味が紛らわしい名詞

- ① { () 「歯医者」
() 「外科医」
() 「内科医」
- ② { () 「いとこ」
() 「甥(おい)」
() 「姪(めい)」
- ③ { () 「(光の当たらない)日陰」 a pleasant shade 「気持ちのよい陰」
() 「影」 the shadow of a woman 「女の人の影」
形容詞で修飾するときにつく
- ④ { () 「鳥や羊の群れ」 a flock of sheep 「ヒツジの群れ」
() 「牛や馬の群れ」 a herd of cattle 「牛の群れ」
() 「魚の群れ」 a school of sardines 「イワシの群れ」
- ⑤ { () 「社会慣習」
() 「個人的習慣・癖」
- ⑥ { () 「道路の車線」
() 「公園・庭園内の歩道」
- ⑦ { () 「(特定の場所からの)眺め」 a water view 「海の見える～」
() 「風景」(不可算名詞)
- ⑧ { () 「(商品)手本」
() 「(人がまねる)手本・見本」

② 冠詞に注意が必要な名詞

<ラジオ・テレビ系>

- ① () 「ラジオ」/② () 「テレビ」/③ () 「電話」

- ・上記の語は、受信機を意味するときには () がつく。
Do you have a color television. 「カラーテレビを持っていますか？」
- ・放送や電話網の意味では radio と telephone は () をつけるが、television は無冠詞で使う場合が多い。← on がつくとき the がつくこともある
You are wanted on the telephone. 「あなたに電話です」

<町・田舎系>

- ・ () は「田舎」の意味では常に () をつけ、() は自分になんらかの関係がある都市を意味するときは () 。city は the がつく

③意味に注意が必要な名詞16選

① case: 「 . 」 be the case 「 」

That is not the case. 「それは本当ではない」 = ()

② capacity: 「(建物・部屋などの) 」 「(工場などの) 」

The hall has a seating capacity of 200. 「そのホールには200人分の席がある」

The factory is working below capacity. 「工場はフル稼働していない」

③ command: 「 」

→ have a good command of A: 「 」

She has a good command of English. 「彼女は英語が達者である」

④ copy: 「(書籍・新聞・雑誌の) 」

I need two copies of today's paper. 「今日の新聞が2部ほしい」

⑤ fault: 「 」 → A's fault: 「 」

It's my fault. 「それは(他ならぬ)私のせいです」

⑥ effect: 「 」 → to that effect: 「 」

words to that effect 「そのような趣旨の発言」

⑦ image: 「 」 → the image of A: 「 」

The baby was the very image of his father. 「その赤ちゃんは父親にそっくりだった」

⑧ line: 「 」 ← drop A a line: 「 」

→ What line (of work/business) is S in? 「 」

⑨ idea: 「 」 → have no idea + wh 節: 「 」

I have no idea how the robbers entered the building.

「強盗がその建物にどう入ったのか見当もつかない」

⑩ nerve: 「 」 → What a nerve (you have)! 「 」

→ have the nerve to V: 「厚かましくもVする」

⑪ safe: 「 」 / ⑫ stranger: 「 」

⑬ sense: 「 」 → a man of sense: 「 」

⑭ shame → It's a shame that 節 「 」

⑮ subject: 「 」 / ⑯ word: 「 」